田川、新時代

田川市を、もっと好きになれるまちへ

自らが政治を変える

7月に執行された田川市長選挙により、浦野仁市長が誕生しました。

田川市で生まれ育ち、さまざまな職業を経験してきた浦野市長。転機となったのは、自ら立ち上げた学習塾で子どもたちと向き合う日々でした。現場で教育環境の課題を直視する中で「教育をもっと良くしたい」という強い思いを抱きます。そんな中、塾の仕事で訪れた東京で目にした「政治家になってみませんか」という募集の文字。その一言と、抱いていた課題感が融合し「教育を変えるには、自らが政治を変えるしかない！」と一念発起。政治家・浦野仁を目指す挑戦が始まりました。

若さと行動力を強みに

教育者・経営者として培ってきた経験を胸に、掲げたのは「しがらみのないクリーンな政治」です。若さと行動力を強みに、市民一人ひとりの声に寄り添う新しいまちづくりがいよいよ始まります。人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化など、田川市が直面する数々の課題。その一つひとつから逃げずに真摯に向き合い、市民が将来に希望を持ち「このまちで暮らし続けたい」と心から思える未来を描きます。

市民が主役の未来へ

これからの4年間、市政の柱となるのは「教育・子育て・経済・福祉」の4つの改革です。市民の暮らしに直結する施策に重点を置くとともに、対話を重ねて市民の声を反映する「市民が主役のまちづくり」を推進。市民の幸せを第一に掲げ、だれもが郷土に愛着と誇りを持ち「田川市を、もっと好きになれるまちへ」を実現するため、みなさんとともに歩みを進めていきます。

田川市長 浦野（うらの） 仁（じん）

平成7年6月24日生まれ。田川市で生まれ、育ち、働いてきた31歳

平成28年	学習塾ユメジュク塾長
令和元年	株式会社ユメジュク代表取締役社長
令和 2年	北九州市立大学法学部法律学科 卒業
令和 3年	HULTインターナショナルビジネススクール 修了 国際経営学修士 取得
令和 8年	田川市長（1期目）

田川の未来を切り拓く 4つの改革

1 教育改革

すべての子どもが「安心して学べる」教室を

まずは学習環境を根本から見直し、すべての子どもたちが安心して学習に取り組める環境をつくります。そしてキャリア教育の拡充や先端技術を活用した新たな田川市モデルの教育を構築し、学力のV字回復を目指します。

2 子育て改革

安心して産み育てられる「子育て先進都市」

出産お祝い金制度の拡充や、新たな奨学金返済支援制度の創設などを通して、多くのみなさんから「子育てをするなら田川市」と言ってもらえるような子育て環境を目指します。

◀7月28日、初の幹部会議に臨んだ浦野市長。制度の改正や新設に対して、多角的な視点で質問をしたり再考を指示したりしました

▲8月5日、特別職を含む幹部職員向けのハラスメント研修を初開催。グループワークで小林（こばやし）教育長（左）と熱心に意見を交わす浦野市長

今こそみなさんの力が必要です！「熊本地震災害義援金」にご協力を

復旧・復興には一人ひとりの温かい支援が大きな力になります。先日、宇土市長から電話で被災地の状況を伺い、報道だけでは伝わらない厳しい現状があり、多くの支えが必要であることを改めて痛感しました。お預かりした義援金は日本赤十字社を通じて責任を持って被災地へ届けます。「遠くの出来事」と思わず、一人でも多くのご支援・ご協力をお願いします。

問 保健福祉課　☎85-7118

※募金箱（1階ロビー）、保健福祉課（1階⑯番窓口）で受付中

4 福祉改革

「田川市に住んでて良かったと言える毎日」を。高齢者幸福度No.1を目指す！

コミュニティバス増便などによる移動手段の拡充や、医療・介護・福祉の連携を強化して全世代を支える体制を構築し、だれもが安心して暮らすことができるまちを目指します。

3 経済改革

稼ぐ力と活力を取り戻す「攻めの田川市」

SNSを活用し田川市の発信力を高め、ふるさと納税のさらなる増収を目指します。また、田川東高校跡地・田川後藤寺駅周辺の再開発や企業誘致を進め、田川市の活気を取り戻します。